

令和4年度第1回島田市地域包括支援センター運営協議会

開催日時 令和4年6月6日(月)13:30～15:00

開催場所 島田市保健福祉センター 研修室(3階)

出席者 【委員】

静岡福祉大学	渡邊 英勝(会長)
ケアマネットしまだ	福與 麻貴(副会長)
あったか広場一会	千頭和 恵
ツクイ岸町	牧野 悟史
介護老人福祉施設本田山荘	櫻井 一範
被保険者	田村 善彦
被保険者	後藤 純子
島田市自治会連合会	吉田 秀二
島田市民生委員・児童委員協議会	塚本 功
地区社会福祉協議会	横山 鐘一郎

【事務局】

健康福祉部長	畑 活年
包括ケア推進課長	大塚 昌利
包括ケア推進課長補佐	大庭 渡
地域支援係長	川本 実子
地域支援係長	米澤 美晴
主任保健師	渡邊 裕美
保健師	中村 遥香
高齢者あんしんセンター第一	尾島 清美
高齢者あんしんセンター第二	鈴木 伊津子
高齢者あんしんセンター六合	中村 優弥子
高齢者あんしんセンター初倉	遠藤 久哉
高齢者あんしんセンター金谷	杉山 葉子
高齢者あんしんセンター川根	奥川 泰史

傍聴人 0人

1 開会

2 委嘱状の交付

11人の委員に委嘱状の交付が行われた。

3 健康福祉部長あいさつ

4 委員及び事務局職員紹介

5 会長・副会長の選任

委員からの意見がなかったため、事務局が提案し、委員の承認を得られ、会長、副会長が選任された。

6 会長あいさつ

7 報告事項

(1) 地域包括支援センターの設置と経過・・・・・・・・・・資料 1

(2) 令和 3 年度事業実績・・・・・・・・・・資料 2

事務局説明

委員) 事業費について、年々上昇しているのは当然だと認識している。地域包括支援センターの役割・業務が高度である。また、専門知識以外に他機関との連携、コーディネートなどの知識が必要。少子高齢化の中でさらに重要な役割を地域包括支援センターは担っていくため、委託料が割に合っているのか、精査が必要と思われる。

委員) いつも地域包括支援センターと連携し困難事例の対応、認知症カフェの開催など、地域貢献している。困難事例を地域包括支援センターだけでなく、主治医等の医療専門職とも連携していけたらと思う。

委員) 初倉地区は、職員が 1 人減となり、職員が多忙で、手が空かない。ふらっと相談する間がない状況が出てきている。市も協力して早く人員を補充して欲しい。市として人員減についてどのように考えているかお聞きしたい。高齢化が進んでいて、日中は若い世代が地区にいない。農家も後継者不足である。若い世代が相談できないため、高齢者、民生委員で日中は対応している。

事務局) 今年度はサブセンターが 1 か所通常のセンターとなった。市としてどのような支援をしていくか考慮している。お金で解決するものだけでなく、人員の確保は福祉介護業界全体の課題でもある。市がどこまでできるかも含め、皆さんの御意見を伺いながら検討していきたい。職員減については、なるべく早く補充ができるよう、受託法人と一緒に取り組んでいきます。

8 協議事項

(1) 指定介護予防支援業務の委託先選定について・・・・・・・・・・資料 3

事務局説明

承認

(2) 令和4年度事業実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4
事務局説明
地域包括支援センター説明

委員) 障害分野や困窮分野との連携は重層的支援体制整備として今後さらに重要になってくる。先進的な取組だと思う。

第二中学校区の計画の中で、買い物移動支援に取り組んでいるが、生活支援体制整備、SCとの連携なのか、どのように取り組んでいるか詳しく教えて欲しい。

地域包括支援センター) 地区担当SCと取り組んでいく。もともと、出張相談会からバスの時間が合わない、乗り降りが大変、でも誰かに買ってきてもらうではなく、自分で見て買い物したいという声があり、SC含めて話し合いを重ねてきた。現在、事業所の送迎車両の空き時間を利用して移動支援ができないか等検討中。

委員) 他の市でもSCや法人との連携がうまくいかない事例があるため、すごい取り組みだと感じた。SCと地域包括支援センターの連携は重要である。

委員) 公正・中立な立場である地域包括支援センターが、1企業の移動スーパーを住民にPRするのはいかがか。ケアマネとしてもプランに位置付けて良いものか悩むところ。ケアマネとして企業へ働きかけはするが、住民への周知は企業がやるべきことと思うがいかがか。

地域包括支援センター) 移動スーパーについては、1企業のPRとして行っているのではなく、生活を支える資源として捉え、周知している。移動スーパーからも地域困りごと等の情報をいただいている。お互い情報共有している。

委員) 資料にはないことだが、大規模災害時のBCPについて、地域包括支援センターはどのように整備しているか。地域を支える地域包括ケアとしてBCPをどのように考えているか。参考にしたい。

事務局) 居宅や事業所と連携しながら効率的に安否確認を行うよう指針がでていますが、すみ分けなどまだ調整できていない。事業所と意見交換しながら効率的に安否確認できるようにしていかなければならない。

委託のなかで「災害マニュアルを整備するよう」となっているが、BCPまではできていない状況。今後包括と協力して進めていきます。

委員) コロナ予防接種の同行を市の委託でヘルパーが支援しているが、この対象はほんの一部の人。事業所の利用者については、個別にヒアリングして把握している。市の接種率は把握しているか。

事務局) 高齢者の接種率、移動困難者のワクチン接種率については、市で把握している。

委員) 地域包括支援センターの認知度はまだ低いと感じる。普段の業務の中で地域包括支援センターについて住民に伝えていきたいと思う。

委員) 独居でコロナで閉じこもりになり、サロン等が再開しても来られなくなってしまった方がいる。もっと地域で支え合っていきたいと思う。事業計画を実現していただきたいと思う。

委員) 地域包括支援センターの業務が多く大変と感じた。高齢者が増えている中どう対応していくか自治会としても考えていかなければならないと感じた。

委員) 地域でも担い手不足。居場所でもサロンでも担い手不足。担い手がいなければやめてもいい、必要になったらまた作ればいいと思っている。

しまトレ団体があるが、町内のしまトレより他の町内の方が近いからそちらに行きたいという声もある。地域包括支援センターが中学校区のしまトレをまとめて連絡会を開催することになった。協力してくれるのは、大変ありがたいと感じる。

地域包括支援センターへの相談が多いのは周知できている証拠。対応できない相談もあると思うが、出来る範囲でやってくれればいいと思う。出張相談など地域に出向くことは包括のPRにもなるし、よい取り組みだと思う。

承認

9 閉会